

4/27 系譜

ロシア外相「核戦争も」

武器供与続ける欧米を脅し

ロシアのラブロフ外相は、ウクライナに近い兵器を供与してしまった。この可能性を示唆し、ウクライナ危険性があるのか、との質問に答えたのです。

25日、政府系第一チャンネルの番組「バリシャヤ・インタビューグラ」でのインタビューです。

「羅みはしないが核戦争の危機は十分にあり、過小評価はできない」と脅迫しました。ロシアの核使用を許さないことがロシアの原則的な立場だとも語りました。

世界大戦が起る重大な危機などを理由に、核戦力の

「特別懲罰」施行を命令しました。

ラブロフ外相は、ウクライナ侵略で欧米がウクライナに最新兵器を供与していることについて、戦争が米国、北大西洋条約機構（NATO）とロシアの代理戦争となっていると指摘。武器を供与し続ける欧米側を批判しました。

すると脅迫したのは、2月27日が最初です。プーチン大統領が欧米諸国の経済制裁的な立場だとも語りました。